

シチズングループのCSR活動

CSRに対する考え方

シチズングループは、「市民に愛され市民に貢献する」との企業理念に基づき、「シチズングループ行動憲章」を定めています。この「シチズングループ行動憲章」に従業員一人ひとりに浸透させ、実践することを通して、社会課題の解決に貢献することを「CSR活動」と捉えています。

「市民に愛され親しまれるものづくり」を通じて世界の人々の暮らしに広く貢献するという思いは、シチズングループの創業以来の原点です。そしてシチズングループは、良い製品を提供するだけでなく、すべての企業活動を通じて社会の要請に応え、必要とされ続ける企業であることを目指しています。

CSR活動のハイライト

2016年度は、国連グローバル・コンパクトなどの国際社会のルールにも照らしながら、企業理念を具現化する「シチズングループ行動憲章」の改定を行い、今後のCSR活動の基礎を固めました。また、これまでのCSR活動の取り組みの方向性について、社会情勢や、お客様、お取引先を含むステークホルダーからの要請などを踏まえて見直し、新たにマテリアリティ(重要課題)

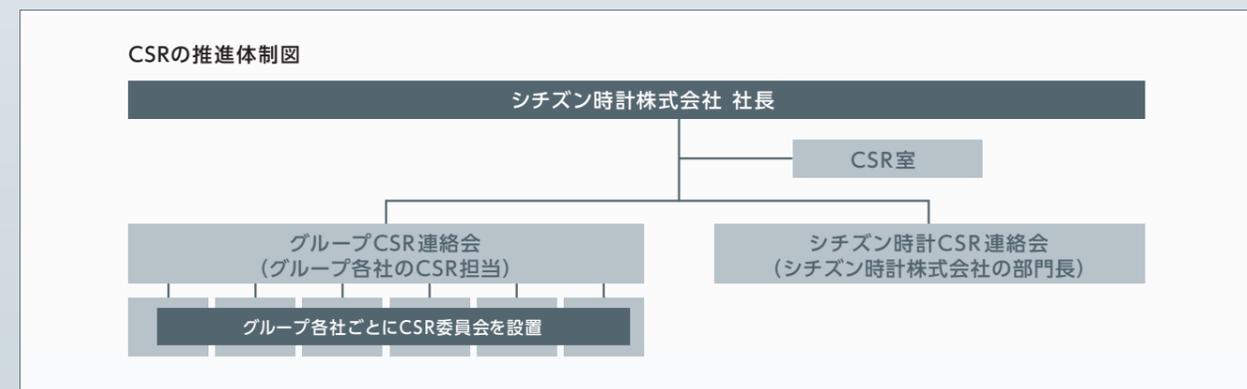
を選定しました。この中で「働きやすい職場環境づくり」を目指して「育児期社員研修」を開始し、「責任ある調達の推進」に向けてグループ統一の「CSR調達ガイドライン」を発行したことに加え、「環境イノベーションの促進」を行い、新たな環境配慮型製品を生み出しました。2017年4月からは、グローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパンへの社員の出向協力も行っています。

※マテリアリティについての詳細は、本ダイジェスト版の該当ページ、およびCSR WEBサイトをご覧ください。

CSR推進体制

2016年10月にシチズンホールディングス、シチズン時計、シチズンビジネスエクスパートの3社が統合し、新生「シチズン時計株式会社」として企業活動が開始されるのに合わせ、それまでのシチズングループとしてのCSRの取り組み方を見直し、強化してきました。シチズン時計の監査・CSR部CSR室(以下、CSR室)を中心とし、各グループ会社のCSR委員会やCSR担当部門と連携し、情報共有を図っています。定期的にグループ各社のCSR担当部門が集まって開催する

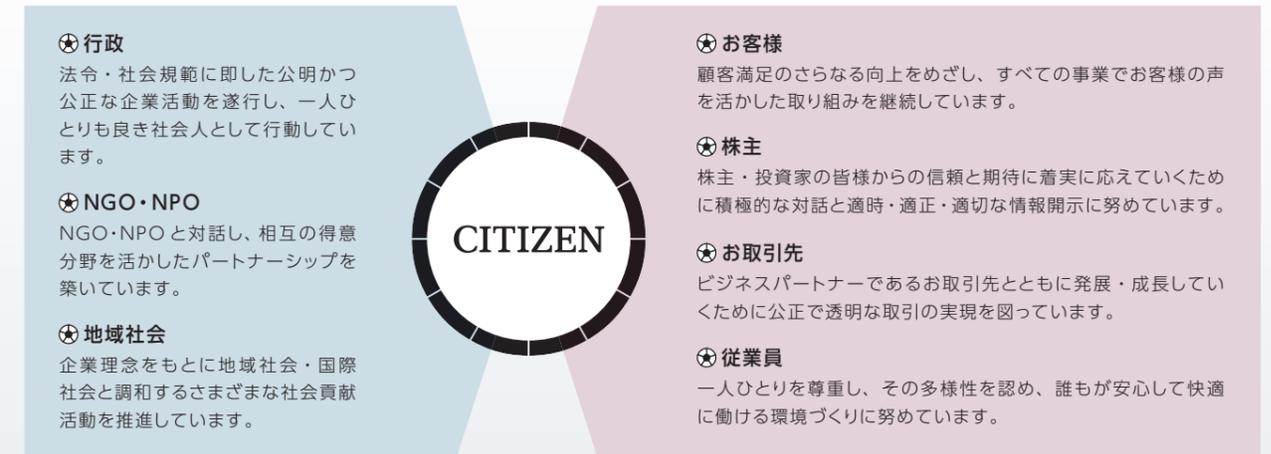
グループCSR連絡会では、グループ全体としての活動の方向性や施策について協議するほか、各社の取り組み状況について確認を行うなど、グループ内でのベストプラクティスの共有も行っています。また、シチズングループでは、CSR目標を「シチズングループ行動憲章」とも紐づけており、従業員一人ひとりが、自らの原点を忘れず、社会のためにできることを日々積み重ねていけるよう、全員参加型のCSR活動を実践しています。



ステークホルダーとの関わり

シチズングループは、様々なステークホルダーに支えられながら企業活動を行っています。また、企業理念である「市民に愛され市民に貢献する」を実現するために、日々ステークホルダーとコミュニケーションを

図っています。社会から信頼を得ながら、価値を提供し続けることができる企業を目指し、ステークホルダーの皆さまとの関わりを大切にしています。



シチズングループのマテリアリティと「持続可能な開発目標」(SDGs)

シチズングループでは、社会やステークホルダーにとって重要な社会課題のうち、企業理念や行動憲章、また中期経営計画等の事業戦略と照らし合わせ、シチズングループにとっても特に重要度の高い課題を整理し、マテリアリティとして選定しました。また、各マテリアリティを、国連の「持続可能な開発目標」(SDGs: Sustainable Development Goals) に紐づけることで、持続可能な

社会の重要性を再確認するとともに、そのために、シチズングループが事業活動を通じてできることを改めて明確にしました。

シチズングループは、国際社会の一員かつ、「真のグローバル企業」としての責任を果たすために、長期的かつ積極的に持続可能な社会の実現に取り組みます。



3.すべての人に健康と福祉を 5.ジェンダー平等を実現しよう 7.エネルギーをみんなにそしてクリーンに 8.働きがいも 経済成長も 10.人や国の不平等をなくそう
12.つくる責任 つかう責任(持続可能な消費と生産) 13.気候変動に具体的な対策を 14.海の豊かさを守ろう 15.陸の豊かさを守ろう 16.平和と公正をすべての人に
17.パートナーシップで目標を達成しよう